

使用前には必ず本説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

動物用医薬品 体外診断用医薬品

キャナイン-CPV/GIAキット

犬パルボウイルス感染症・ジアルジア症診断用金コロイド標識抗体反応複合キット

製法及び性状

キャナイン-CPV/GIAキットは、免疫クロマトグラフィー法を利用して犬パルボウイルス抗原及びジアルジアシスト抗原を検出するキットである。検出板の犬パルボウイルス側には金コロイド標識抗犬パルボウイルスマウスモノクローナル抗体、捕捉用抗犬パルボウイルスマウスモノクローナル抗体及び抗マウスIgG1山羊抗体が、ジアルジア側には金コロイド標識抗ジアルジアマウスモノクローナル抗体、捕捉用抗ジアルジアマウスモノクローナル抗体及び抗マウスIgG1山羊抗体がスポットされている。

滴下用プラスチック容器には、無色透明の希釈液が入っている。

成分及び分量

検出板 1枚中

(1) 犬パルボウイルス窓側

| | | |
|--|-----------|----|
| 金コロイド標識抗犬パルボウイルスマウスモノクローナル抗体 (モノクローナル抗体の蛋白量として) | 0.2±0.05 | μg |
| 捕捉用抗犬パルボウイルスマウスモノクローナル抗体 (モノクローナル抗体の蛋白量として) | 0.25±0.05 | μg |
| 抗マウスIgG1山羊抗体 (抗体の蛋白量として) | 0.36±0.05 | μg |

(2) ジアルジア窓側

| | | |
|---|-----------|----|
| 金コロイド標識抗ジアルジアマウスモノクローナル抗体 (モノクローナル抗体の蛋白量として) | 0.16±0.05 | μg |
| 捕捉用抗ジアルジアマウスモノクローナル抗体 (モノクローナル抗体の蛋白量として) | 0.18±0.05 | μg |
| 抗マウスIgG1山羊抗体 (抗体の蛋白量として) | 0.36±0.05 | μg |

希釈液 1容器 (1 mL) 中

| | | |
|-----------|-----|----|
| トリス塩基 | 6.1 | mg |
| ポリソルベート20 | 5.0 | μL |
| アジ化ナトリウム | 1.0 | mg |
| 精製水 | 残量 | |

使用目的

犬の糞便中の犬パルボウイルス抗原及びジアルジアシスト抗原の検出

使用方法

① 希釈液入り滴下用プラスチック容器に付属したスティック、あるいは付属の綿棒を用いて犬の糞便を30～100mg採取し (スティックの溝が埋まる程度あるいは綿棒の先端から約半分)、滴下用プラスチック容器内の希釈液に浸す。

② 容器をきつく閉め、糞便が希釈液に混ざるように振盪し、検体液とする。

③ アルミニウム袋から検出板を取り出し、平坦な水平面に置く。

④ 検体液入り滴下用プラスチック容器の頂上のキャップを開け、検体液を検出板の犬パルボウイルス及びジアルジア両滴下窓 (S位置) に3滴ずつ滴下する。

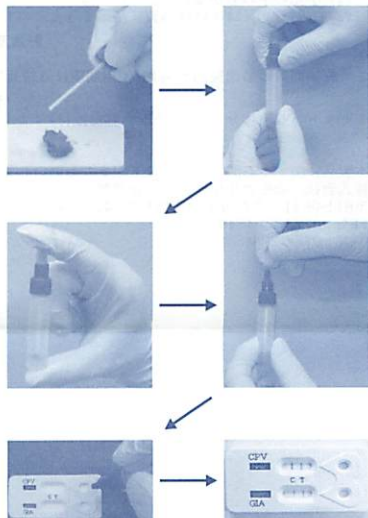
⑤ 室温に静置し、5～10分後に判定窓の反応線出現の有無を肉眼で観察する。

⑥ 判定

犬パルボウイルス (上蓋に「CPV」、くりぬき穴には「Parvo」と表示)、ジアルジア (上蓋のジアルジア側には「GIA」、くりぬき穴には「Giardia」と表示) とも

陽性: T位置 (検査部位) とC位置 (反応終了部位) の両方に赤紫色の反応線が出現した場合
陰性: C位置 (反応終了部位) のみに赤紫色の反応線が出現した場合

C位置の反応線が出現しない場合は、正常な試験が行われていないと判断されるので、他の検出板を用いて同一の検体液で再試験を行う。



使用上の注意

【一般的注意】

- (1) 本キットは定められた使用方法を厳守すること。
- (2) 本キットは定められた目的にのみ使用すること。

【使用時の注意】

- (1) 本キットの検出感度は排泄される犬パルボウイルス量あるいはジアルジアシスト量に依存し、その量が検出限界以下の場合、陰性と判定されることがあるので注意すること。また、本キットではジアルジアの栄養型は検出されないもので注意すること。
- (2) 本キットによる陰性判定は、必ずしも犬パルボウイルスあるいはジアルジアの存在を否定するものではないので注意すること。
- (3) 診断は、本キットの結果だけでなく臨床的背景、病歴、臨床所見、他の検査手法の成績等を参考にし、総合的に判断すること。また、ジアルジアシストの排泄は間歇的であるため、本キットでジアルジア抗原陰性を示してもジアルジアの感染が疑われる場合には、検査時期をずらしての複数回実施等により診断することが望まれる。
- (4) 犬パルボウイルス感染症ワクチン及び同ウイルスを含む混合ワクチンを注射した犬の糞便では、本キットで犬パルボウイルス抗原陽性を示す場合があるので注意すること。
- (5) 検査対象となる犬の健康状態は様々であり、検体として用いる便の状態により判定に影響を及ぼす場合も想定される。下痢を呈した粘稠な便や粘液様便を検体とすると、展開が遅いため位置の反応線が判定時間内に出現しないことがあるので、再検査すること。その時は生理食塩水約50 μ Lを滴下窓に追加し、展開を促し反応を見ること。
- (6) 乾燥した便では、採取できない、あるいは希釈液で溶けきらないことがあるので注意すること。
- (7) 検査には添付の希釈液を使用すること。
- (8) 判定時間(5~10分間)を厳守すること。
- (9) 犬パルボウイルス抗原の検出に関して、猫汎白血球減少症ウイルスとは同程度の反応を示すことがあるので注意すること。
- (10) 検出板及び希釈液は、検査ごとに新しいものを使用すること。
- (11) 検出板は湿気により弱いため、アルミニウム袋を開封後10分以内に使用すること。
- (12) 検査時には使い捨て手袋を使用すること。

【取扱い上の注意】

- (1) 外観又は内容に異常を認めたものは使用しないこと。
- (2) 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- (3) 本キットは同一製造番号の試薬を用いた場合に、正確な結果が得られるよう調整されているので、使用に先立って必ず各構成品の製造番号を確認すること。また、他の製造番号の診断試薬と組み合わせで使用しないこと。
- (4) 検出板を冷蔵庫で保存する場合は、室温に戻してから使用すること。
- (5) 感染のおそれがある使用後の検出板は、残った検体、綿棒、希釈液等と共に確実に消毒又は滅菌してから処分すること。

【保管上の注意】

- (1) 小児の手の届かないところに保管すること。
- (2) 直射日光又は凍結は品質に影響を与えるので、避けること。

貯法及び有効期間

- 1 2~30℃
- 2 有効期間は製造後21か月間(使用期限は外箱及びラベルに表示)

包装

- 1 セット 5検体分(プラスチック容器添付)

本製品に関するお問い合わせは下記までお願いします。

株式会社 微生物化学研究所 営業部
〒611-0041 京都府宇治市檜島町24、16番地
TEL: 0774-22-4519
FAX: 0774-22-4568



製造販売元
株式会社 微生物化学研究所
京都府宇治市檜島町24、16番地

26090110B
CPG①